

愛知県震度観測・調査報告書－第42報－の概要

1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、2022年1月～2022年12月に発生した地震と震度に関する情報をまとめるもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的として報告書を作成している。昭和56年より1冊／年で発行しており、本書で42冊目となる。トピックスとして、南海トラフ地震臨時情報と北海道・三陸沖後発地震注意情報についての解説を掲載した。

2 愛知県震度観測・調査報告書－第42報－の概要

(1) トピックス

- ・南海トラフ地震臨時情報と北海道・三陸沖後発地震注意情報について

南海トラフ地震臨時情報や北海道・三陸沖後発地震注意情報など、近年整えられてきた地震に関する臨時情報や注意情報を整理し、その科学的根拠とともに、可能な対策についても解説している。

(2) 震度観測資料

ア 愛知県における地震

2022年に、県内のいずれかの市町村で震度1以上が観測された地震の発生は17回であり、震度4以上が観測された地震の発生は1回であった。

イ 国内の主要な地震

2022年に、国内で被害を伴った地震の発生は7回（注）であった。

（注）6月19日15時08分及び同月20日10時31分に発生した石川県能登地方の地震並びに8月11日00時35分及び同日00時53分に発生した上川地方北部の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため、合わせてそれぞれ1回として扱った。

ウ 世界の地震

2022年に、世界で人的被害を伴った地震の発生は36回であり、死者が100名を超える海外の地震の発生は2回あった。

3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県図書館、県民相談・情報センター等に配付し、県民に地震についての理解を深めてもらう。